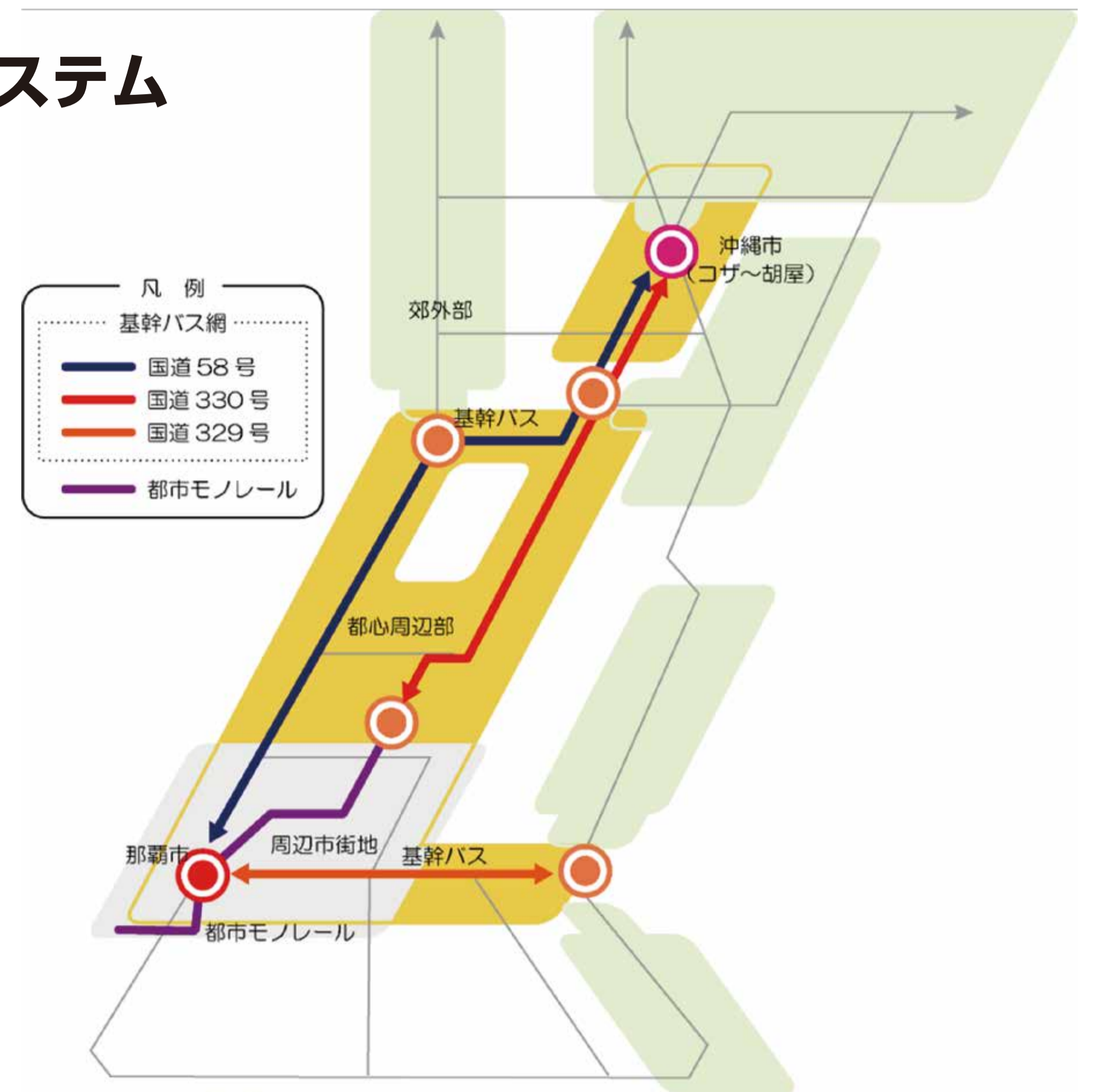
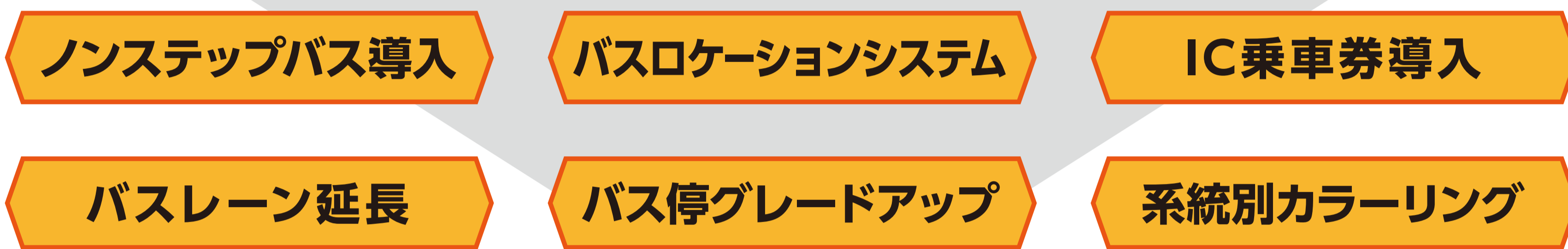


背景 | 軌道系交通システム並みのグレード(高い輸送力、走行性、快適性)を備えたバスシステム

沖縄県が
10年後に
実現をめざす
**基幹バス
システム**

- 人口が集中し、交通量の多い中南部の交通軸3方向(国道58・329・330号)に導入
- シンプルでわかりやすいバス網への再編
- 利用しやすいダイヤ(運行時刻を気にすることなく利用できる水準)の実現
- 急行運行によるモビリティの向上
- 基幹バスと支線バスのシームレスな乗り継ぎ
- 専用走行空間等による定時性、確実な運行の実現
- 斬新な車両等によるシンボル性



基幹急行バス
(でいごライナー)
の運行

インフラの整備、3年間の実証実験を経て、
令和元年9月より、那覇BT~コザ間で
朝夕の通勤時間帯を中心に運行をスタート。



運行開始時にはテレビCMを放映し、
その後も継続的にラジオCM/ラジオ番組、
SNS等を通じて周知を行ってきた。
「基幹バスシステム」の構築に向け、
基幹急行バスの存在感を高め、バスの
利用増につなげていく必要がある。



沖縄タイムス令和元年9月20日

コンセプト

バスとクルマが実際に走り比べる検証動画で
「バスに対する**固定観念**」を覆す

**移動の
選択肢に
なり得る**

クルマとの比較で
「クルマありき」の
前提を覆す

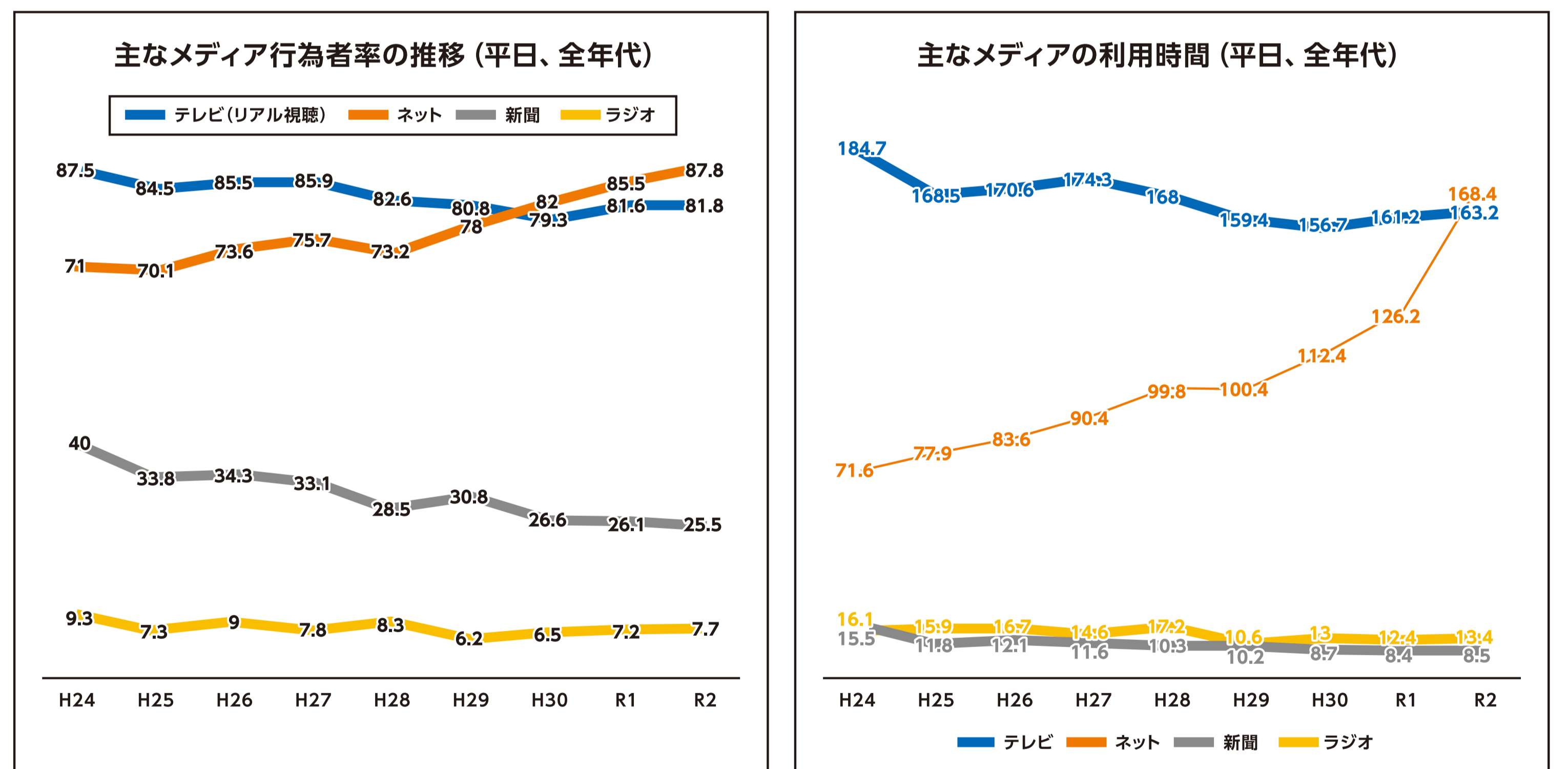
**バス移動は
快適**

乗ったことがない人に
「乗車体験」してもらい
食わず嫌いを払拭

**定時速達性の
向上・改善**

「バスは遅れる」
という先入観を
払拭

テレビとネットが重要なコンタクトポイント



ターゲット

基幹急行バス運行エリアに居住するビジネスパーソンや学生
(特に将来の利用層となる若年層)

- 基幹急行バスにまだ乗ったことがない人
- バスより「クルマ」だと思っている人

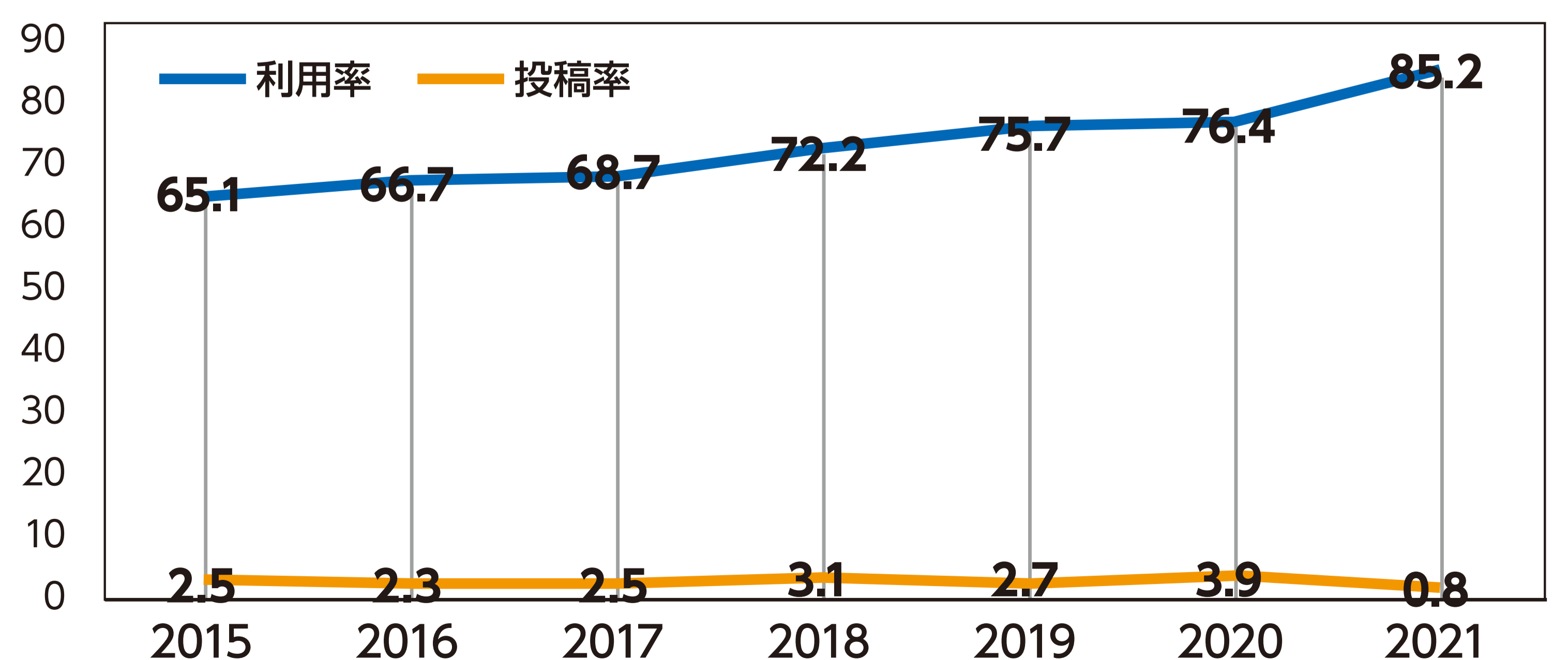
手段

市民権を得たネット動画をMMツールとして活用



- 映像表現は直感的に理解しやすい
- 通信環境が整備され、動画視聴は生活の一部として定着
- 特にYouTube視聴者は全世代に拡大手軽に公開でき、テレビなどより
- 低予算での運用が可能
- 公開後も息の長い視聴獲得が可能

インターネット動画共有メディアの中でも突出した利用者を誇るYouTube



令和2年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書(総務省)

概要

タイトル

禁断の検証動画基幹急行バスvs 乗用車早いのはどっち!?



2019年から運行を開始した、那覇～コザ間を約60分でスピーディーに結ぶ基幹急行バス「でいごライナー」。果たしてクルマとどちらが早いのか朝の通勤時間帯に、実際に走り比べて検証しました。

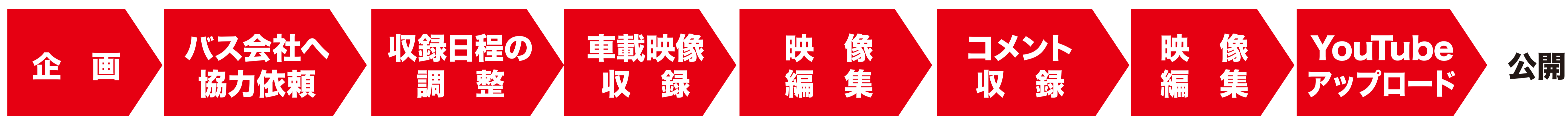
構成

基幹急行バスチームとクルマチームに分かれてスタート。その模様を党首・幹事長の掛け合いでユーモアを交えて伝える。

放送時間
10分33秒



制作プロセス



当初はドライブレコーダー映像を想定していたが、技術的な制約で、車載カメラでの収録に切り替え。



新型コロナ感染が下火になり、行動制限が解除された10月末に設置。通勤のピークに運行する便を選択。

クルマとバスの映像を見比べて最適なシーンをチョイス。

映像を見ながらの掛け合いの模様を収録。

演出ポイント

基幹急行バスvs乗用車「対決の構図」で興味喚起

バスとクルマを比較しやすく表示

【タイトル】
【映像】
【イラスト】
【ナレーション】

[早いのはどっち!?]と興味を煽る表現
バスとクルマの映像を並列に表示
画面下に現在位置を配置
バス派とクルマ派に分かれてコメント



「バス通勤の快適性」を伝えるキーワードをコメントなどでアピール

気になる「時間」やバス通勤・通学のメリットを目と耳で感じてもらう

【時間帯】
【時間表示】
【コメント】

ビジネスパーソン・学生が時間を気にする「朝の通勤時間帯」に設定
視聴者が乗車を実感できるよう、場面ごとに「現在時刻」を表示「ほぼ時刻表通り」「バスレーンはスイスイ」など、定時速達性をアピールするキーワードを随所に盛り込む



飽きずに視聴してもらえるようテンポよくコンパクトに編集

楽しみながら視聴してもらう

【放送時間】
【ナレーション】

60分ほどある実際の乗車時間のポイントを絞り込み、約10分に編集
コメンテーターがワイプで登場する手法で、ユーモアを交えた掛け合い



展望

続編として、さらに道路が渋滞する夕方の「下り便」の検証動画を作成・公開予定。
引き続き、バスの定時速達性の向上等の周知を行っていきます。